
幸せだった日々…。

光琉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

幸せだった日々…。

【Nコード】

N4024I

【作者名】

光琉

【あらすじ】

はい。始めました。

この小説は銀さん嫌われ小説です。銀さん女体化ですが男子として生きてます。本名は坂田銀花^{キンカ}です。銀八と銀時は兄弟です。銀さんには辛い過去があるけど、銀八は銀時が高校二年のときに来たので知りません。全員敵。高杉は銀魂高校にはいません。隙あらば銀さんを鬼兵隊に引き込もつと悪戦苦闘中。銀さん最強設定で、白夜叉と呼ばれ恐れられていた。最終的に土銀。ハッピーエンドですっ！この小説には殴る蹴る等の暴行表現が多々出てきます。苦手な人は

回れ右っ！平気な人はどうぞ！

狂い始める歯車…2

……昼休み

「坂田君。私、まだ校内の事全然分からないから、案内してくれない?」

突然、彩伽が寄ってきてこんなことを言ってきた。

冗談じゃねえーよ!

「妙とか神楽に頼めば?そっちのほう楽しいと思うけど?」

「うん。私達ならいいわよ?彩伽ちゃん。いきましょ。」

「行くアルよ!」

よしよし。よかった。

「ううん。坂田君に案内してもらいたいんだ。ゴメンね?お妙ちゃん。神楽ちゃん。」

は?

「いいわよ。行ってらっしゃい。」

「銀ちゃん。彩伽に手、出しちゃ駄目アルよ!」

ハアアアア!?マジでか!!

「じゃ、行くう 坂田君。」

「あ、ああ。」

結局行く事に……。

それから俺は、音楽室、屋上、理科室、保健室と様々な教室を案内した。そして人気の無い社会科準備室の前を通った時、

「おわっ！！！」

彩伽に腕を引つ張られて、準備室の中に入ってしまった…。

「なんなんだ？一体…。」

ふ、と彩伽を見ると、彩伽は憎しみを込めたような表情で、俺を見ていた。「な、なんだよ？」

「ねえ…坂田君。このクラスから消えてくれない？」

「は？」

「3Zのアイドルは私一人で十分。他にいららないの。だから、消えて？」

な、なにいつちゃってんの？こいつ…。

「だから、3Zのアイドルはアタシ一人で十分だっていつてるの。」

意味わかんねえ〜。

「…まあ、いいわ。この学校にいられないようにしてあげるから覚悟しなさい…」

ダダダッと走ってでていく彩伽

この時はまさかこんなことになるとは、思いもよらなかつた…

狂い始める歯車…2 (後書き)

ま…まだイジメが書けない…orz

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4024i/>

幸せだった日々...

2010年10月11日11時01分発行